

ハプニング

西武池袋線大泉学園駅の人身事故発生により電車が大幅に遅れており、運行再開の目途は立たないとの放送が流れていました。とにかく、覚悟のうえ乗車した急行は、秋津駅に臨時停車、更に準急運行となりました。疲れ顔でしたが全員池袋駅に集合出来一安心。何年かぶりの通勤電車のラッシュを思い出したようで、話が弾みにぎやかでした。

予約時間経過後でも入館可能であることを確認して出発しました。

皇居三の丸尚蔵館「百花ひらくー花々をめぐる美」&

JP タワーKITTE 学術文化総合ミュージアム (2025/4/22)

「皇居三の丸尚蔵館」は東京駅から斜め右手方向、徒歩約 20 分お濠を渡ってすぐのところに在ります。入館時に簡単な手荷物検査が行われていました。入館は予約が必要で 70 歳以上は無料、70 歳未満は 1 千円必要です。

今回の展示は、花を題材とした 11 世紀から現代にいたる絵画・工芸・書跡 45 件が展示され、四季の明瞭な日本の季節を彩る花々を造形化した作品が展示されていました。こじんまりした展示空間でしたがじっくり鑑賞する（説明文を読み）と少しは作者の狙い心が理解出来たかもしれないと思いましたが？

（新施設の建設に伴い、5月6日までの展示で休館となり、全面開館は令和8年秋の予定）

（重要文化財）

七宝四季花鳥図花瓶

並河 靖之

（ 国 宝 ）

薔薇小禽図

伊藤 若冲

梅花小禽図



「JPタワーKITTE 学術文化総合ミュージアム」は、旧日本郵便の跡地に建てられた商業ビルです。ここには、東京大学が開学以来蓄積保管してきた膨大な標本が展示されています。化石、鉱物、動物、花、貝類、虫、鳥、ミイラ、恐竜の卵、精密工作機械など、数えきれないほど種々の標本が有り、子供たちは勿論、大人も楽しめる標本が多数ありました。

これほど膨大な小昆虫などを整理、保管管理の労力を考えると気の遠くなるような気がしてならないし、非常に貴重な標本であり今後も大切に保管してほしいと思いました。

ミュージアムを1時間半ほど見学して、遅い昼食を当ビル5Fの食堂街でいただきました。食後、屋上庭園「KITTE ガーデン」で赤レンガの東京駅を上から眺め、新幹線の発着を楽しんで解散しました。

マンモスの卵



エビオルニスの骨格化石（複製）



マンモスの象牙化石



JPタワー5F：レストラン
(菜な丸の内店)



JPタワー6F：屋上庭園「KITTE ガーデン」
展望テラス（後方下東京駅）

